

「食の駅」基本構想（案）に対するご意見と市の考え方

区 分		意見の要旨	市の考え方
1 基本構想（案）の趣旨・目的関連	1-1	<p>農業は本市の基幹産業であり「食にこだわったまちづくり」は必要です。農業を中心として、商工業や観光などと連携を強め、農産物や特産品など様々な地域資源を有効に利用し、農業の持続的発展や新たな商品の開発、観光の振興などを通じて、地域経済の活性化を図ることは重要なので、「食の駅」基本構想（案）の趣旨・目的、「食にこだわったまちづくり」の基本コンセプト等については賛成します。</p>	<p>基本構想（案）の趣旨・目的、食にこだわったまちづくりの基本コンセプト等について、ご理解をいただいたものと受けとめます。</p>
3 食にこだわったまちづくりの取り組み関連	2-1	<p>「食にこだわったまちづくり」というテーマは、基本的に賛成します。不況下において最も安定して消費されるのは「食」だと考えます。</p>	<p>「食にこだわったまちづくり」の取り組みについて、ご理解をいただいたものと受けとめます。</p>
	2-2	<p>展開方法には改善の余地がないでしょうか。美唄は何が特産なのかが不明です。アスパラガスは一昔前までは知名度がありましたが、現在は低下していると感じます。ハスカップは本州ではほとんど知名度がないように思います（美唄＝”びばい”と読めません）。他の作物も道内市町村とかぶって”美唄ならでは”というものが戦略的に創造されていないように感じます。加工品でも「とりめし」は市内で盛り上がっているだけで、帯広の豚丼とは比べものになりません。”なら美唄”といった宣伝、アピールを戦略的、計画的に行うべきです。</p>	<p>現在、地場産品アンテナショップやインターネットのポータルサイト「ピパ」での情報提供、ネット販売等のソフト事業に取り組んでおり、また、地域資源のブランド化も今年度から検討することとしており、いただいたご意見はこれらの事業を推進する中で参考とさせていただきたいと考えます。</p>
	2-3	<p>一般市民は、普段、スーパー、コンビニ、商店などから食品を購入しています。今回、新たに開発する商品は、こうした販売店にも揃えるようにしてほしいと思います。評判の商品が揃っていれば買ってくれると思います。</p>	<p>食を柱に、産業間、産学官の連携や市民（消費者）との結びつきを高め、特産品をはじめ地域の魅力を内外に発信し、様々な地域資源のブランド化を促進していくこととしており、いただいたご意見は、新商品の開発を進める際の参考とさせていただきたいと考えます。</p>
	2-4	<p>「食にこだわったまちづくり」は大賛成です。食の駅にすぐに結びつくのではなく、食にこだわったまちづくりを進めていって、食の駅が必要になった段階で考えていくことがよいと思う。（団体説明会）</p>	<p>基本構想（案）について、ご理解をいただいたものと受けとめます。</p>

「食の駅」基本構想（案）に対するご意見と市の考え方

区 分		意見の要旨	市の考え方
3 食にこだわったまちづくりの取り組み関連	2-5	<p>JAは一企業なので、市が主導権を持って生産管理、販売計画、宣伝活動を行うべきだと考えます。また、人材育成も重要なので、市役所各部署で販売業種の研修を取り入れるなどしてはいかがでしょうか。自分たちのまちで生産されたものが、どうやってお客様の手に渡っていくかを直に体験することで、より消費者ニーズを理解することができると思います。夕張＝メロンのような、美唄＝という答えを市主導で作り上げ、市全体が活性化することを切望します。</p>	<p>「食にこだわったまちづくり」を総合的に推進していくためには、事業者や学術試験研究機関、関係団体等と連携して取り組むことが重要と考えており、安全で安心な農産物の生産・販売、加工食品の開発のほか、地場産品アンテナショップや物産展などに出品し、販路拡大を図るなど、それぞれがその役割を大いに発揮していくことを期待しております。</p>
4 「食の駅」の基本的な考え方関連	3-1	<p>利用者は数多くの道の駅を訪れているので、こうした人たちの情報は参考になります。（同様の意見が他に1件ありました）</p>	<p>「食にこだわったまちづくり」の取り組みとして進めるポータルサイト「ピパ」や地場産品アンテナショップなどを通じて「美唄」を市内外に発信する一方で、利用者の皆様から農産物や特産品等についてご意見をいただくなど、市民に親しまれ、また外から来る人にとっても魅力ある食の駅とするよう努めてまいります。</p>
	3-2	<p>国道12号線の利用者をターゲットにしていると思いますが、どのように集客するのが課題です。道の駅は今や過剰と思えるほどで、道の駅に産地直売を併設しただけでは、各地の道の駅と差別化できません。販売の拡大を望むのであれば、市内にアンテナショップを作るより、本州に直営店を作ったり、催事場で販売するなど、直接首都圏市場に打って出た方が効果は大きいと思います。美唄市内の生産量が足りなければ、近隣市町村との連携や冬季は九州などの市町村と提携するなどしてもよいと思います。</p>	<p>「食の駅」は、美唄の「地域資源」を様々な形で市内外に向け情報発信、販売提供する食の複合拠点として考えております。真に市民に親しまれ、外から来る人にとっても魅力ある施設にしていくために、ポータルサイト「ピパ」による情報提供や食のフリーマーケット、地場産品アンテナショップ、更には地元農産物を活用した付加価値の高い商品開発などに取り組み、こうした成果を踏まえ、総合的に検討することとしております。</p>

「食の駅」基本構想（案）に対するご意見と市の考え方

区 分	意見の要旨	市の考え方
4 「食の駅」の基本的な考え方 関連	3-3 「食の駅」基本構想（案）は、基本施設と地域振興施設を一箇所に設けることになっていますが、基本施設なしに、いくつかある既存の諸施設を使って、「食にこだわったまちづくり」をすべきです。基本施設がなくても「食の駅」の趣旨・目的に見合うような効果を生み出すことができるはずで	
	3-4 費用対効果の観点から「食の駅」の採算の見通しが立たないので、基本施設（「道の駅」）の新たな整備には反対です。「食の駅」の建設費に2億円程度、ランニングコストとして毎年2千万円程度の財政支出が予想されます。全国的にも「道の駅」は乱立状態にあって淘汰の段階に入っており、財政危機の折り、採算の見通しが難しい新しい事業を興すのではなく、いくつかある既存の施設を使って、「食の駅」の趣旨・目的を追求すべきです。将来、商品開発や利用者の増大など、費用対効果の観点から「食の駅」の採算見通しが十分に立つようになったときに、あらためて検討すべきです。その際は厳しい財政運営が迫られている本市としては、市民説明会と市民アンケート（賛成・反対）を必ず実施し、市民の理解と納得のもとに決定すべきです	「食の駅」は、ご指摘のように「食にこだわったまちづくり」の取り組みを進める中で、その成果等を踏まえ、財政状況や必要性を含め、立地場所、整備・管理運営のあり方などについて総合的に検討し、その上で市民の皆さんの意見なども伺いながら基本計画（案）をまとめていくこととしておりますので、ご理解願います。 なお、今年から「食にこだわったまちづくり」を関係団体等と連携を図りながら、全市的な展開を目指して取り組んでいるところであり、この推進に向けて市民の皆様のご協力をお願いしているところです。
	3-5 「食の駅」の検討は、財政状況の安定の見通しがつくまで先送りすべきです。今は、市立美唄病院の経営立て直しを最優先に考えるべきだと思います。 食のPRについては、現状に工夫を加えて進めればよく、それ以上のことは当面個々に考えて販路拡大を図れば良いと思います。	
	3-6 財政再建団体に転落する可能性が極めて高い中で、アンテナショップ設置程度のマーケットリサーチだけで、5億円もの費用をかけて「道の駅」を作るメリットがどこにあるのか、さっぱり理解できません。他自治体にも知名度の高い「道の駅」があるため、いずれは過当競争に陥り、「地方空港」のように共倒れになることが十分に予想されます。その場合、誰が責任を取るのでしょうか。この点についても、設置のメリットばかりが宣伝されているだけで、リスクについては一文字すらありません。このような無責任体質が、ただでさえ悪い現在の財政事情の更なる悪化に拍車をかけたのではないのでしょうか。（同様の意見が団体説明会で1件ありました）	

「食の駅」基本構想（案）に対するご意見と市の考え方

区 分		意見の要旨	市の考え方
4 「食の駅」の基本的な考え方関連	3-7	「食の駅」にアルテピアッツァ美唄などのミニ展示コーナーをつくり、こうした施設に興味を持たせて、行きやすいようにしてほしいと思います。美唄の周りには、すでに沢山の道の駅があるので、美唄らしい特色を出さないと難しいと思いますが、是非成功させてほしいと思います。	食の駅については、農産物や食を中心とした特産品の販路拡大・PR、新たな加工品の開発などを産学官が連携し、市民も参画して進める「食にこだわったまちづくり」の一環として行う地場産品アンテナショップなどのソフト事業の成果等を踏まえ、総合的に検討することとしており、いただいたご意見は、その際の参考とさせていただきます。
	3-8	コンビニを併設すべきです。	
	3-9	「食の駅」に市民バス停留所を設置してほしい。市民の利用度が上がると考えます。	
5 「食の駅」の整備候補地関連	4-1	12号線沿いの空き施設の利用は良いことだと思います。「道の駅」は幹線沿いでないと集客は見込めないし、ただ立ち寄ってくれた人を食の駅に引き止めておくことが出来るかによると思います。	食の駅は、「食にこだわったまちづくり」の一環として取り組む地場産品アンテナショップ等の成果を踏まえ、総合的に検討することとしており、いただいたご意見は、その際の参考とさせていただきます。
6 整備手法、7 管理運営方法関連	5-1	「食の駅」は既設施設の活用から出発するのが妥当です。また、施設運営が民間による主体的維持管理を基本とすることを支持します。	食の駅の整備手法や管理運営方法について、ご理解をいただいたものと受けとめます。
その他 (食の駅基本構想(案)に関するもの)	6-1	毎年開催している「食のフリーマーケット」の開催結果について教えてください。	平成17年度から実施している「食のフリーマーケット」の出店者数及び入場者数は次のとおりです。 H17年度～15店、1,180人 H18年度～17店、1,860人 H19年度～18店、820人 H20年度(2回分)～16店、1,850人
	6-2	行政は、情報公開と市民参加を掲げているのに、市民の理解と納得を求める取り組みは不十分で、行政が市民から離れて先頭に立っていると感じます。行政は市民の理解と納得を得ることをもっと重視し、必要な取り組みをお願いします。	「食の駅」基本構想(案)の策定に当たっては、市内の関係団体等からご推薦をいただいた市民検討委員会の委員の皆さんの意見を踏まえて策定したほか、「パブリックコメント手続条例」に基づき、基本構想(案)の意見募集を実施したところで、今後におきましても、市民の皆さんとの協働によるまちづくりを進める観点から、情報公開や市民参加など積極的に取り組んでまいります。

「食の駅」基本構想（案）に対するご意見と市の考え方

区 分		意見の要旨	市の考え方
その他 （食の駅基本構想（案）に関するもの）	6-3	ファシリティーマネジメントって何でしょうか。横文字を使用することはやめてほしいと思います。	<p>基本構想（案）に概要説明をつけておりますが、ファシリティとは、経営のために必要な全施設とそれに関わる設備といわれております。そうした施設・設備を最適に経営的な視点から総合的に企画・管理・活用するための経営管理活動のことをファシリティマネジメントといいます。</p> <p>基本構想（案）では、食の駅を新設する場合と既設施設の再利用をする場合との建設コストや、整備後のテナントの使用料金を比較検討をする際の基本的な考え方を示すための用語として引用しました。</p> <p>なお、今後、横文字使用については、なるべくわかりやすい言葉に置き換えるか、または詳しい説明を加えるよう努めることとします。</p>
その他 （パブリック・コメント制度に関するもの）	6-4	パブリック・コメント手続に、氏名、住所が必要な理由は何か。	<p>パブリック・コメント手続において意見を提出していただく際には、原則として意見を提出した方の氏名及び住所を明らかにしていただくこととしております。その理由としては、意見提出に係る責任の所在をはっきりさせることや、意見内容の確認を行う場合があることから、この条件を明示しております。</p>